



2023年3月29日

各 位

会社名 株式会社メドレックス  
代表者名 代表取締役社長 松村 米 浩  
(コード番号：4586 東証グロース)  
問合せ先 取締役経営管理部長 藤 岡 健  
(TEL. 03-3664-9665)

### MRX-4TZTの権利返還に関するお知らせ

当社グループが米国で開発中の痙性麻痺治療薬MRX-4TZT（チザニジン<sup>\*1</sup>テープ剤）について、インドの製薬会社 Cipla Ltd.（インド マハラシュトラ州ムンバイ、以下「Cipla」）の100%子会社であるCipla Technologies, LLC（米国カリフォルニア州サンディエゴ、以下「Cipla Tech」）との間で世界的な開発・販売ライセンス契約（ただし、東アジアを除く）を締結していますが、Ciplaの全社戦略変更（中枢神経関連の開発候補品については資金投入を抑制してアウトライセンスする方針）を受けてCipla Techから今後の開発の進め方について申し入れがあり協議を続けていることをお知らせしていました（2023年2月10日決算短信）。

この度、1日でも早く開発再開することで本パイプラインの価値向上を図りたい当社グループとして、MRX-4TZTに関する全ての権利をCipla Techから取り戻すことに合意しましたのでお知らせします。今後は、当社グループが開発を進めてまいります。

MRX-4TZTは、イオン液体<sup>\*2</sup>を利用した当社の独自技術ILTS<sup>®</sup>（Ionic Liquid Transdermal System）を用いて中枢性筋弛緩薬であるチザニジンのテープ型貼付剤を製剤開発したものです。米国における筋弛緩薬市場は、2021年において約1,400億円（1,285 million USドル）と推計されています（出所：IQVIA）。現在、筋弛緩薬の経皮製剤が存在しない中、経皮製剤化することにより経口剤と比較して、有効血中濃度の持続性、眠気や口渇等の副作用の低減等の利点が期待されます。

本件による今期業績への影響は軽微です。現在進行中の第25回新株予約権による資金調達が順調に進み、当社グループが臨床第2相試験を実施することを決定した場合は、2023年12月期業績へ及ぼす影響を速やかに公表する予定です。

以 上

《ご参考》

\*1 チザニジン

チザニジンとは、中枢性筋弛緩剤（脳や脊髄にある中枢神経に作用して筋肉の緊張を緩和する薬）の一種で、脳卒中、脊椎損傷や多発性硬化症に伴う痙性麻痺等の筋肉がこわばる症状の治療、及び、痛みを伴う肩こりや腰痛、五十肩、緊張性頭痛等の治療に使用されています。

\*2 イオン液体

イオン液体とは、融点が 100℃以下の塩（えん）のことで、常温溶融塩とも呼ばれています。低融点、高イオン伝導性、高極性、不揮発性、不燃性等の特徴を有しており、太陽電池や環境に優しい反応溶媒等、多方面における応用が検討されています。当社では、薬物をイオン液体化する、あるいは、イオン液体に薬物を溶解することにより、当該薬物の経皮浸透性を飛躍的に向上させることができることを世界に先駆けて見出しました。現在までに、①人体への使用実績がある化合物の組み合わせによる安全性が高いと考えられるイオン液体ライブラリー、②対象薬物の経皮浸透性向上に適したイオン液体の選択に関するノウハウ、③薬物を含有するイオン液体をその特性を保持したまま使い勝手のよい形（貼り薬、塗り薬等）に製剤化するノウハウ等を蓄積しています。これらのノウハウ等も含めた独自の経皮吸収型製剤作製技術を総称して、ILTS<sup>®</sup> (Ionic Liquid Transdermal System) と呼んでいます。